

会社	会社名	中部電力株式会社		
概要	従業員数	18,353 (H28.3月末現在)	業種	電気事業ほか

1. ねらい

- 性別・年齢・障害の有無などにかかわらず、従業員一人ひとりがその能力をより一層発揮できる企業風土の醸成
- 仕事と育児・介護の両立支援および仕事に効率よく集中して取り組む働き方の推進

2. 施策内容

①「働き方・休み方改革」

- ・「メリハワーク」(限りある時間を意識し、仕事に効率よく集中して取り組む働き方)の推進
- ・時間外労働命令の明確化 ・フレックスタイム勤務制の適用拡大
- ・計画的な休暇取得の推進 ・年次有給休暇(年休)以外の休暇制度の導入

②仕事と介護の両立支援

- ・法定を上回る介護休業制度の導入 ・両立支援ツールの活用
- ・「介護アンケート」による実態調査およびこれを踏まえた「仕事と介護の両立支援セミナー」の開催

3. 取組実績・効果

①「働き方・休み方改革」

- ・ノ残業デーや19時までに退社する週間の設定等の取組や、メリハワーク推進月間の設定と啓発活動(段取り力習得のためのセミナーやメリハリ川柳のコンテスト)等により、従業員に「メリハワーク」の意識が定着している。
- ・上司が部下に対して、時間外労働の必要性を確認し命じることが徹底するため、「時間外命令カード」を活用。
- ・フレックスタイム勤務制の適用拡大により、より多くの従業員において業務実態に応じた主体的な始終業時刻の設定ができ、効率的かつ柔軟な働き方が可能となっている。
- ・年休については、年間の「休暇取得計画表」を活用して、計画的な取得にする努めている。また、これを職場メンバー間で相互に確認し合うなど、取得しやすい環境が整っている。なお、取得率は、全国平均を上回る水準。
- ・2年間で消滅する年休の積立として、私傷病による療養・治療、家族の看護・介護、公的資格取得およびボランティア等、幅広い活用が可能な特別休暇制度を設けている。

②「仕事と介護の両立支援」

- ・仕事と介護の両立支援セミナーを開催し、従業員が介護に直面しても、最適な両立体制を築き、活躍し続けることができるよう基本知識を身につけ、生産性向上に向けて働き方を見直すための機会を提供している。
- ・介護のためのフレックスタイム勤務措置導入により、介護の実態に応じて、1日の所定労働時間にとらわれることなく、効率的かつ柔軟な働き方が可能となっている。
- ・従業員が仕事と介護を効果的・効率的に両立するためのツールとしてガイドブックを作成し、社内イントラネットに掲載している。